

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル (2019年版) 4章 評価結果の表示方法について (P.77) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オープンレジデンシア西区新道二丁目 新築工事	階数	地上15F
建設地	名古屋市西区新道二丁目1501番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2022年5月31日
敷地面積	539 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	250 m <sup>2</sup>	確認日	2022年6月1日
延床面積	2,787 m <sup>2</sup>	確認者	

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.0**

☆: S: ★★★★★ A: ★★★☆☆ B+: ★★☆☆☆ B-: ★★☆☆☆ C: ★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	住宅街のため周辺に配慮した外観を確保した。	その他
Q1 室内環境	床衝撃音に対する遮音性が優れているスラブ厚250mm以上を確保。	Q3 室外環境 (敷地内) 防犯上、駐輪場は建物内に設けた。
LR1 エネルギー	共用部分の証明器具をLEDを使用し消費電力を抑えた。	LR3 敷地外環境 周辺住民に配慮し隣地界には緑を設けた。
Q2 サービス性能	階高2.8m以上とし室内高2.45mとしゆとりある住空間としている。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便座や水栓を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)オープンレジデンシア西区新道二丁目 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.2</b>
LR1	エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.066666667	
<b>2. 自然共生</b>				<b>2.3</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>2.8</b>
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.025	

## 結果

### 1. 温暖化対策

評価点 = 3.2



### 2. 自然共生

評価点 = 2.3



### 3. 循環型社会

評価点 = 2.8



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。